一般社団法人　大阪大学工業会　　2024年3月

2023年度　会長インタビューでお伺いしたご意見の要点（3）

インタビュー対象者	大学の教育研究への期待
株式会社大林組代表取締役社長 蓮輪 賢治　様	・官には媚びない，迎合しないという気質 「大阪大学工学部らしさ」を期待。 ・基盤技術などの基盤分野によってグローバルに活躍している土台を大切にし，グローバルな状況を見据えた上での研究開発と，それを担う人材養成し，我が国の「国力」「経済力」を高めることを期待。 ・教育では，「わくわく」感じさせるものを。
元・株式会社NTTドコモ 代表取締役社長 大阪大学工業会副会長 山田 隆持　様	・教養教育の重要性からも，工学教育と教養教育とをマージして教育するのがよい。リベラルアーツが身につくような教育体系が欲しい。
株式会社ダイヘン　代表取締役社長 蓑毛 正一郎　様	・昔のままのモノがよいというわけでなく，基盤的なモノと発展させるモノなどとのバランスを考えつつ，とにかく手を動かすことも重視して教育して欲しい。 ・自ら考え，また考えを発信できる人物に期待。 ・大阪大学の大きな特徴の一つでもある産学連携・共創によって，産業界の発展への貢献に期待。
三洋化成工業株式会社　取締役会長 安藤 孝夫　様	・教養・学部の講義は印象的であった。感じることで興味をそそることへの配慮 ・社会人博士制度は，産業界に働く研究者にとってとても有難い制度。 ・工学研究科に望む人材養成：「知的好奇心」と「努力できる才能」を持ち主体的に動く人財を ・「世界をリードする」独創的な研究を。 ・リーダーシップをとる多様な人財を送り出す
シスメックス株式会社　代表取締役社長 浅野 薫　様	・長期視野の基盤強化と学生の意欲向上を。 ・評価の問題があり，直ぐに成果を求められている感じがする。成果は確かに必要ですが，成果、成果に寄りすぎては、大学としての本来の役割を果たせない部分もある。 ・もう少し長期的な視点を。「志」を大事にする教育を。
元・南海電気鉄道株式会社 取締役社長 亘 信二　様	・「気づき」とその展開が図れる人材の養成を。 ・ビジネスの意識を高めるような教育を。 ・博士人材については，やはり，産業界も博士課程を終えた人材を活かす体制を考えることが必要で，連携を重視すること。 ・組織のマネージメント力を高める教育を。
丸一鋼管株式会社 代表取締役社長兼COO 吉村 貴典　様	・人材養成について， 多様な知識・情報とその活用を図る能力を。 ・基本的なことをしっかりと教えて頂くこと。 ・博士号を持った人が少ない現状を改革願いたい。
岩谷産業株式会社 代表取締役社長 間島 寛　様	・開発研究の意義を実感させ，人材養成への産業界と大学との有効な連携を。 ・これからの技術を支えていく世代の人々と連携して，技術開発に取り組めないか。 ・先端研究をリードする「研究の聖地」の創設を期待する。
日本認証株式会社 代表取締役会長 IDEC株式会社技術経営担当上席執行役員 大阪大学工業会理事 藤田 俊弘　様	・ウェルビーイング・テクノロジーの研究や国際連携の日本初での先取り体制を大阪大学に。

元・アサヒグループホールディングス 株式会社 代表取締役副社長 **川面 克行 様**	・大学は，理念・方針を明示して，分かりやすく伝える努力を。 ・「大阪大学のブランド」をもっと維持・発展させて欲しい。 ・OBにも分かりやすい形で大学の目標を示していただきたい。 ・組織の行く道は，理念があって，経営方針に従って数値目標など設定するのですが，大阪大学がこれから進むべき道標が具体的に示され，先生方がそれに向かっての教育研究活動を。 ・経営的センスが求められ，大学の構成員の意識も変わらなければならない。
花王株式会社 取締役会長 **澤田 道隆　様**	・人材育成の本質は，人が育つ環境をつくること。 ・人づくりはコミュニケーションを通じて胸に突き刺さる経験を与えること。 ・「評価の仕組み」を変えよう：評価の仕方の変革が大学には求められている
株式会社大同工業所代表取締役社長 大阪大学工業会理事 **大桐　伸介　様**	・大学での研究経験が企業での未知の分野へのアプローチに役立つことを感じさせる教育を。
株式会社エンバイオ・ ホールディングス　取締役会長 **西村　実　様**	・産学連携では大学の圧倒的サイエンス知見に期待。 ・企業の方も大学に求める役割をしっかりと考えることが重要。はっきりと両者の役割を理解させること。 ・大学の研究資金の獲得に起業化の件数などが用いられることには少し違和感がある。素晴らしい成果の出ている基礎的な研究でも，大学主導でその研究成果の事業化や社会実装などの話に進むと，基礎研究のレベルが中途半端で止まってしまうのではないかと懸念。
元・東京エレクトロン株式会社 代表取締役会長 東京エレクトロンデバイス株式会社取締役 株式会社レゾナック・ホールディングス 取締役 **常石 哲男　様**	・我が国の大学教育のあり方を問う。日本はもっと高等教育に金をかけないといけない。 ・ファンドはフェアに大学にディストリビュートすることが重要。 ・大学の研究成果も世界に通じるものに育てていって欲しい。 ・新しく生まれた「知」を実用化・事業化ベースに乗せる軌道が重要。
サラヤ株式会社 代表取締役社長 **更家 悠介　様**	・国際的に評価される研究を：役割を明確にした産学連携も活かしてほしい。 ・大学の方で，社会に役立つ「種」を是非創造して欲しい。
サンワ・リノテック株式会社 取締役会長 **佐川 博敏　様**	・大学には誇れる成果を，学生さんには海外経験と語学力をつける教育を。
株式会社 ユーデーコンサルタンツ 代表取締役会長 **西田 修　様**	・大学の教育では，自ら進む道を見つる指導を。大学では実務を教え，経験させる教育を。 ・自らの望むところ，やりたい仕事が見つけられる基盤となるような教育や実習体制を。いまや，この「自ら」が欠けている。 ・大学はリベラルアーツを学ぶ場であり，しっかりと教養教育が必要。教養教育と専門教育とのバランスを。更には，専門教育の課程の高学年時でも教養教育を。
元・株式会社SUBARU 取締役専務執行役員 三井化学株式会社 社外取締役 **馬渕　晃　様**	・多様な人材，多様な環境が活性化を生む。 ・「変革をしなければならない」というが，変わる，変わるといっても，同じところで育ってきたものばかりでは，同一同色では，多分本質的には何も変わらない。 ・最近は研究が進んで行くとかなり細部に入り込み，限られた分野に講義や研究が進んで行っているのではないかと思われるが，多様な広がりのある可能性を学ぶことにも注目して欲しい。